

2/17

革新

No.105
1969
2.17

全国革新タレント会議
市大支部発行

全情熱を試験ボイコット決議に集中せよ！ 本日の全員総決起集会（PM1:30 講堂）に結集せよ！

大学当局、民青系全学連支持会談の結託による闘争收拾策動を粉碎せよ。

それは、医闘争支援、対等、直接参加の管理機構の創出をめざす、全学ストライキ体制の確立以外にない！

13日教務試験中止から、教務部封鎖による試験の18日までの延期という叩きの前進によつて、全学友の急遽な叩きへの結果が進行する中で、大学当局は闘争の收拾策動を強化しはじめた。

このような收拾策動を粉碎し、根本的改革へ前進しうる唯一の道——それは、医闘争断固支持、管理機構としての大学協議会、教授会解体、対等、直接参加の管理機構の創出を目標とする、全学、無期限ストライキをかちとる以外にはない。

大学当局は、すでに「大学改革委員会」なるものを発足させ、「改革案」の早期作成と、民青系諸君をも利用しつゝ、今日の各学部長官集会の開催から、全学集会の開催による闘争の收拾へとつて、すでに全学大学部等において「実験」すみの收拾工作の道を歩もうとしている。

学友諸君！本日の全学総決起集会に結集せよ！クラス討論の成果を集約し、ストライキに向けての強固な闘争体制を築こう！大学当局、民青の闘争收拾策動に対して、叩き学友の総結集をもって応えよ！

すでに先日からの大学協議会との大衆団友によつて明瞭になったように、大学当局の「改革」なるものは、大学協議会、教授会という現行管理機構を温存したうえでの、部分的イキ決議をかちとれ！

学部、クラス、学科でストライキ決議をかちとれ！

民青系全学連支持会談は、大学当局の先まわりをして收拾案を提示しはじめた。

現行管理機構の擁護を基礎とする「大学協議会」構想の本質と役割を暴露する！

「試験の実施」「封鎖反対」のみを主張し、骨身を削る闘争圧殺のみにくい姿を全学友の前に出した。

そしてその「民主化案」は、本質的に現行管理機構の温存の上での「部分的改善」であり、それは、大学当局が投げ与えようとする